

「徳島県観光振興基本計画（第3期）」改定（案）【概要】**1. 改定の趣旨**

令和元年8月に策定した「徳島県観光振興基本計画（第3期）」（計画期間：令和元年～令和4年）について、コロナ禍による環境変化を踏まえ、感染拡大防止と経済活動の持続的両立を図りながら、ニューノーマルに対応した効果的な施策を推進するため、改定を行う。

2. 改定における「新たな視点」

- (1) 安全安心な観光地づくり（コロナ感染拡大防止条例等に基づく感染予防対策の徹底）
- (2) DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した誘客の推進（オンラインツアーやVRコンテンツの活用）
- (3) SNSによる徳島の魅力発信（官民一体となりSNSでの「徳島県」を想起するハッシュタグ）
- (4) 新しい旅行スタイルによる滞在型観光の促進（ワーケーションやブレジジャー等の推進）
- (5) 新たな観光トレンドに対応した観光人材の育成（とくしま観光アカデミーの開講）

3. 改定の概要**(1) 「重点施策」の改定**

- ① 国内誘客強化施策（現行：国内誘客施策）
 - ▶ SNSハッシュタグによる徳島の認知度の向上
 - ▶ オンラインツアーやVRコンテンツの充実
 - ▶ 四国DC（デスティネーションキャンペーン）と連携した誘客促進
 - ▶ J1復帰を契機とした誘客促進
- ② 滞在型観光推進施策（施策名は変更なし）
 - ▶ 「ワーケーション」や「ブレジジャー」の本格展開
 - ▶ 「アドベンチャーツーリズム」等の推進
 - ▶ 長期滞在型の客室の整備促進
- ③ 国際観光プロモーション施策（現行：インバウンド拡大施策）
 - ▶ 現地旅行会社とのオンライン商談会の実施
 - ▶ 外国人インフルエンサー、多言語SNS等を活用した魅力発信
 - ▶ ウェブセミナーなどオンラインの積極的活用
 - ▶ Wi-Fi環境等の整備
- ④ ニューノーマルMICE誘致促進施策（現行：MICE誘致施策）
 - ▶ 中規模・小規模のコンベンションの誘致促進
 - ▶ 「リアルとオンラインのハイブリッド」会議の誘致

(2) 「基本施策（重点施策の推進に向けた共通した取組み）」の改定

- 安全安心な受入環境の推進（追加）
 - ▶ コロナ感染拡大防止条例等に基づき、観光関連施設での感染予防対策を徹底

(3) 数値目標の見直し

● 「外国人延べ宿泊者数」「コンベンション参加者数」を廃止

「外国人延べ宿泊者数」廃止⇒「ニューノーマルに対応した観光プロモーション実施回数」を設定

「コンベンション参加者数」廃止⇒「リアルとオンラインのハイブリッド会議等開催回数」を設定

● 「国内延べ宿泊者数(日本人)」「延べ観光入込客数」「年間観光消費額」について、令和3年度から段階的に回復することを想定の上、数値目標を見直し

・国内延べ宿泊者数：令和3年7月頃から段階的に回復（R1比 60% → 70～100%）

⇒令和4年1月頃から令和元年並に回復

数値目標（項目）	単位	実績値	推計値	新たな目標値		現在の目標値
		2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2022年度 (R4)
国内延べ宿泊者数（暦年）	万人	243	144	180	260	283
延べ観光入込客数（暦年）	万人	1,952	963	1,360	1,980	2,070
年間観光消費額（暦年）	億円	1,072	484	750	1,090	1,200

(4) 新たな数値目標の設定

数値目標（項目）	単位	推計値	新たな目標値	
		2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
「ガイドライン実践店ステッカー」・ 「事業者版スマートライフ宣言」の導入 宿泊施設数（累計）	件	200	400	500
ハッシュタグ投稿数	万件	200	300	450
ニューノーマルに対応した観光プロモーション（観光セミナー・商談会等）実施回数 （累計）	回	—	30	60
リアルとオンラインのハイブリッド会議等 （中四国規模以上）開催回数（累計）	回	—	20	45